

# 草食男子を読み解く—若者の恋愛観

蛭川 耕太

(黒木雅子ゼミ)

## 目次

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. はじめに           | 4. 女性が崩す男らしさ |
| 2. 8タイプの草食系男子     | 5. おわりに      |
| 3. 草食男子についてインタビュー |              |

### 1. はじめに

2010年に行った国立社会保障・人口問題研究所の出生動向基本調査によると、つきあっている異性がない未婚の割合が、男性で6割、女性の5割と過去最多となった。そしてこのうち男女とも半数近くが「異性との交際を望まない」と答えた。この結果から、日本社会の非婚化そして少子化に歯止めがかからないことが予測できる。ではいったいなぜ、つきあっている異性がない男女が増えたのだろうか、そしてなぜ異性との交際を望まない男女が半数近くいるのだろうか、インタビュー調査によって若い男女の恋愛観を探っていく。

草食男子とは、2008年から2009年にかけて、テレビや女性誌などで使われ始めた。この言葉を誕生させたのは、コラムニストの深澤真紀である。彼女は2006年の日系ビジネスオンラインの記事で、「恋愛やセックスにガツガツしていなくて、男女の友情も築ける存在」といういい意味で「草食男子」と呼んだが、もともとは消費や恋愛に積極的だった世代の生き方に対する意義申し立ての言葉だったのである。しかしこの言葉は、深澤の意図とは逆の意味で広がり、肉体関係を求めない恋愛のできない男性という認識が広がった。そして草食男子とつき合うためには、女性が積極的に行動し、過剰な駆け引きをせず、自分の人間性を高めることが必要とされている。

2009年に入ると、テレビで草食男子の特集が組まれたりミニドラマが作られるなど、草食系の男

性タレントがもてはやされたりしはじめた。草食男子という言葉が流行語になり、深澤の定義から離れて使用され始め、細身で眼鏡をかけたおしゃれなファッションをしている男子という意味や、優柔不断でなよなよして気持ちの悪い男という意味で使われたりもしている。草食男子には、女性にある程度モテて、恋愛には不自由していない人もいれば、女性に縁のないモテない男性もいるのではないだろうか。

草食男子という言葉を作った深澤真紀や『草食系男子の恋愛学』という本の著者の森岡正博は、心が優しく、男らしさに縛られておらず、恋愛にガツガツせず、傷ついたり傷つけたりすることが苦手な男性を草食男子と述べている。本論では、この定義にしたがって一般に流布する草食男子の中身を検討する。

草食男子が増加した背景は、男女平等化、女性の社会的地位の向上などが挙げられる。これにより、旧来の男性が女性をリードするような人間関係のスタイルは崩れつつある。その他にも、インターネットの普及や娯楽の多様化や、不況による若者の金銭面での価値観の変化などが草食男子を増加させる傾向に拍車をかけていると言える。

筆者がこのテーマを選んだ理由は、最近よくメディアで話題にされている草食男子という言葉がマイナスにしか使われておらず、本当にそうなのか疑問に思ったからである。特にマスメディアでは、恋愛ができない男性のことがよく話題に取り上げられている。筆者の身近にいる男性の中でも

女性に興味はあるが、いざ女性を前にすると会話ができません。どう接すればいいのか判らない男性も見られる。そのなかには、女性に全く無関心で自分の趣味に時間を費やしたい人もいれば、女性とつき合うと金がかかるのでそれを拒む男性もいる。本論では実際に4人の20代男性と女性を対象に、身近にいる草食男子を好意的にみているのか否定的にみているのか、インフォーマル・インタビュー調査をもとに明らかにしていきたい。

## 2. 8タイプの草食系男子

森岡は、『最後の恋愛は草食系男子がもってくる』において草食男子を8つのタイプに分類している。以下8タイプについて簡単に紹介しよう。草食男子には、経験豊富なタイプもいれば、奥手の男子もいる。同じように、いわゆる肉食系と言われる男子もひとくりにできない。①奥手の草食男子とは、心が優しく繊細な男子であり、女性に積極的にアプローチができないのが特徴である。②経験豊富な草食男子とは、家族に姉妹がいたりして、女性とのやりとりで慣れており、相手の気持ちの変化によく気がつき、話を聞くのも上手である。③奥手の肉食男子とは、根は積極的だが、経験がほとんどないため、押しの一手で迫っていく傾向がある。④経験豊富な肉食男子とは、女性の気持ちを探りながら積極的にアプローチする特徴がある。デートでは、自分がリードし女性を受身のまま楽しませる。なかには、次から次へと口説く者もいる。⑤奥手の中身草食系・外側肉食男子とは、心が優しく繊細な男子である。恋愛経験が乏しいため、女性に対してどのようにアプローチしていいのか分からない。また、肉体面・心理面で男らしくなろうと努力している草食系男子である。⑥経験豊富な中身草食系・外側肉食男子とは、優しく繊細であるにもかかわらず、女性に対応するときは、男らしく女性を積極的にリードできる男子である。女性から見ると、見かけは男性らしく、行動も頼もしいので、安心してデートを任せられる。一方で、心の中に入っていくと、意外と優しく繊細であり、そのギャップが魅力的なことから、女性に人気の高い男子である。⑦奥手の中身肉食系・外側草食男子とは、女性に積極的に迫っていきたいタイプだが、押しの一手で迫っても上

手くいかないことが分り、相手の気持ちを考え、繊細に優しい態度で女性と接しようと努力している男子である。また、奥手であるため女性との関係を、段階を踏んで縮めていくということができないことが特徴である。⑧経験豊富な中身肉食系・外側草食男子とは、女性に積極的な意欲を持っているのかかわらず、女性に繊細な気配りができ優しい対応ができる男子である。根が肉食系なので、複数の女性と関係を持つことを苦にしない傾向がある。以上、単純に草食系と肉食系の2つに分けられるのではなく、経験豊富か奥手か、さらに中身と外側の組み合わせによって、8タイプに分けられる。

2011年春頃からネットや雑誌などに「アスパラ巻き系」と「ロールキャベツ系」という言葉が登場し始めた。「アスパラ巻き系」とは見た目が肉食で中身が草食男子のことで上記8タイプの中の⑤（奥手）と⑥（経験豊富）がそれに当たり、「ロールキャベツ系」とは外見は控えめな草食だが中身は異性に積極的な肉食の男性で⑦（奥手）と⑧（経験豊富）である。

## 3. 草食男子についてインタビュー

調査方法：インフォーマル・インタビュー（構造化されないインタビュー）

調査目的：草食男子について語る

調査対象者：20代男性と女性各2名

調査実施日：2011年11月2日～12月9日

調査場所：自宅・公園

### 1) Aさん（21歳）男性—「①奥手の草食男子」

Aさんは現在フリーターで、自分の会社を建てるという夢のために派遣労働で金を貯めている。大阪で一人暮らしをしており自由な暮らしを満喫しているようだ。彼は、活発で自転車で一人旅に出るアウトドア派の人物である。そんな彼に、草食男子について自由に語ってもらった。

Aさんが考える草食男子とは？

Aさんが考える草食男子は、筆者や深澤・森岡の定義とは違い、無気力な男性である。簡単に言えば趣味がなく、土日は外に出ないで家でゴロゴロしているような人だ。彼は、恋愛にそれほど価値を置いておらず草食系と言えるだろう。しかし

深澤たちの草食男子の定義に彼自身は当てはまらないと語った。

森岡の8タイプの草食系男子をもとに彼が、どのタイプに該当するか聞いたところ、何のためらいもなく「奥手の草食男子」であると言った。その理由としては、もともと恋愛する気がないとキッパリと答えた。しかし、もし好きな人ができたら告白までは踏み出せるが、その後の行為はお互いの流れで決めるという。

次に、近年新聞やニュースなどで取り上げられる若者のハングリー精神の無さについて聞いてみた。彼は草食男子でも社会に出て仕事をやっていくことができると答えた。家でパソコンばかりしていて普段から社交的でない人でも、得意なパソコン関連の仕事に就けば働いていけるというのである。要は自分の趣味があって熱くなれる人は、夢中になれるような関連企業で働きやっているとしたいのだろう。そして草食男子は、昔からいたはずだとつけ加えた。ただ草食男子という言葉が作られたから、そのような人たちが目立つようになったのだろう。Aさんに、草食男子を好意的に見ているのかあるいは否定的なのか聞いてみたところ、彼は好意的に見ており、男目線で見ると悪くないという。しかし女性が恋愛をする上では、草食男子はあまり好まれなと思うと述べた。

ところで、草食男子はよく話題にはされているが、草食女子もいる。もし好きな女性が草食女子であればどのように接するのか聞いたところ、彼は草食男子だけではなく草食女子にも好意的である。状況にもよるが、初めは会話をして遊びなどに誘うことで相手に親しみを持ってもらえればいと語った。そこで「奥手の草食男子」だという彼に、優柔不断な男性をどのように見ているか聞くと、自分自身が草食系かもしれないが、そのような男性を否定はしないという。たとえば2人で会話しているときは喋るのに3人に増えると話題に入らない場合がある。その理由として彼は、2人では話せるが人数が増えると自分の入りこめスペースがないことを挙げた。

草食系と肉食系の違いは、育ってきた家庭環境で変わるのではないだろうか。彼は、父親と幼いころにコミュニケーションを取らなかつたら草食系になっていくのではないかと考えている。恋愛

に限らず、私生活がアグレッシブでないと草食系だと言われるのである。彼は人見知りであり、そのことで人見知り＝草食系男子をイコール関係で結ぶのを嫌がった。また彼は具体的な例として、水筒にお茶を入れて学校に持参してくる人を草食男子と見ている。肉食系は水をコンビニなどで買うイメージがあるからだそうだ。その他、草食男子の特徴として、メールでは積極的に話題を出すのが、実際に会えば喋らず無口な人、寡黙さもあるが、それはコミュニケーション力が無いのではなく、ただ人見知りなだけと彼は考えている。また、恋愛したいと思った時点で草食男子ではなく肉食男子だという。

彼は草食男子では幅が広すぎるので、「恋愛草食男子」に改名してほしいと、草食男子という用語に不満をもらした。この話題に続き、Aさんの恋愛観も聞いてみた。彼は、初めに「なんで女性は草食系じゃアカンの？」と疑問を投げかけた。もし女性が受身の恋愛を望むのなら「俺は、恋愛無理やわ」といった。彼は駆け引きなどせず、お互いを尊重しあう恋愛を初めからしたいというのである。

#### 考察

Aさんは、友達としての男女交流であれば積極的に行動する男性である。だが、恋愛となると意識しすぎてしまうせいか、人見知りの癖が出てしまう。彼は自由を求めるタイプなので恋愛という束縛されるような形は苦手なのかもしれない。彼はもともと恋愛する気もないと言うぐらいなので「奥手の草食男子」以前に、趣味などに没頭する男性と言えよう。

草食男子について、メディアでは若者のハングリー精神のなさがよく言われるが、やる気が持てるような雇用環境があれば若者も変わってくるのではないだろうか。草食男子について、彼は好意的に見ているようだ。だが筆者の意見としては、草食男子が好意的に見ている部分であっても、他の男性は別の見方をしているかもしれないということである。例えば、優しい男性は好意的に見られるが、逆に言えば利用しやすい男性ともとれる。草食男子は、優しい男性というイメージが強いものの彼ら自身が損をしているような気がするの

ある。

## 2) Mさん (21歳) 男性—「⑦奥手の中身肉食系・外側草食男子」

Mさんは、文系の大学4回生で、現在は就職活動をしている最中である。本人は水泳のインストラクターになるのが夢であり、その夢に向かって現在資格を取るため勉強をしている。彼はたいへん明るく場の空気を盛り上げるムードメーカー的存在である。

### Mさんが考える草食男子とは？

Mさんが考える草食男子は、肉食系とは違って恋愛をしないイメージをもっている。彼も自分のことを草食男子であり、恋愛には向いていない男子として認識している。それに対し肉食男子は、ホストのような人見知りもせず喋っていきける人と考えているようだ。また草食男子は恋愛面だけではなく、勉強やスポーツでも負けたりすることを仕方なく思っている面がある。好きな女性にメールを送るときに躊躇し、メールを送りたいのだが、この文章で「返信が返ってくるのか？」などドキドキするようだ。

森岡があげた8タイプの草食男子を見てもらいどれに当てはまるか聞いたところ、「中身肉食系・外側草食男子」だと答えた。女性との接し方が分らず困っているが、女性と接したいという気持ちは強い。以前の彼は、女性であれば誰でもいいから肉体関係を持ちたいと思っていたようだ。しかし、恋をしてからは、そのような気持ちはなくなり真剣にその人と向き合いたいと変わったようだ。

彼の身の周りにも草食男子はおり、草食系仲間が集まっても、何をして遊ぶかという提案が誰一人からも出ないようだ。草食系同士が集まったときは、まとめてくれる人がいないのでなかなか行動に移せない。万が一、女性と遊んでも相手に決めてもらいたいとはっきりと言う。多くの女性はリードされる側を好む傾向があるので、その点では恋愛できる人とできない人の差が出てくるかもしれないと、考えているようだ。逆に肉食系男子のグループは、自己主張の強い人の集団というイメージがある。理想としては4人グループで草食系3人、肉食系1人という割合なら肉食系の人に

任せて付いていきたいと語る。結論から言えば、自己主張の強い人がいないのもめめることもなく、リーダー的存在もない。ただ自分から行動する人もいないので遊ぶこともできなければ、女性を誘うこともできないので恋愛をする機会はないそうだ。

次に草食男子は会社に入って馴染めるか聞いたところ、自分に合った職業であればやっていけるが合わなかったら厳しいと、答えた。しかし草食男子はサービス業界に向いているのではないかと聞いた。その理由として、客に怒られても丁寧な接客で愛想よくできるからだという。

草食男子を否定的に見ることはないが、損をしていることが多いと述べた。彼は、自分自身が草食男子ということもあって、肉食男子と比較してしまうそうだ。肉食男子は自分から行動を起こして楽しいことを作り出すが、草食男子は誰かが行動するのを待っているのを損をしているという。女性との関係にしても、自分から誘えず勇気がないので一緒に遊べない。連絡をとることもなく時間が経つと、恋愛対象外になるのだろう。逆に肉食系はアグレッシブに行動しすぎて失敗するのではないか。だが草食男子と違うところは、切り替えが早いことで失敗しても次に進もうという考え方を持つ人が多いだろうと、考えている。草食男子は、自分では幸せだと思うが、周りからみたら「どうでもいい感じに見られる存在だろう」という。

彼の理想の恋愛を聞いたところ、束縛されたくないことで仕事などの業務内容のメールだけで十分だと言う。結婚に関しては、プロポーズも自分からせず、相手に任せるのが理想である。

### 考察

Mさんは、自分が草食男子ということもあり、肉食系と比較しながらインタビューに答えてくれた。また彼は肉食系のような男らしい男性に憧れているのではないだろうか。彼は、女性との接し方がわからないだけで、「中身肉食系・外側草食系男子」の可能性もある。ただ、束縛されるのが苦手なので、もう少しまめに気遣いができれば、彼があこがれる肉食系に近づくのではないだろうか。

草食男子の行動力に関しては、常に「誰かに任せよう・誰かがしてくれる」という考えがあるので、集団ではまとまって行動しにくいだろう。草食男子をどのように見ているかについては、好意的な部分もあれば否定的な部分もあるという。

### 3) Kさん(20歳)女性—「④経験豊富な肉食系」を好む女性

Kさんは現在フリーターをしながら就職活動中である。彼女はアウトドア派で、釣りをしたり、山に登ることが好きな活発な女性である。大型バイクでドライブするのも彼女の趣味の一つである。そんな彼女は草食男子のことを、どのように見ているのだろうか聞いてみた。

#### Kさんが考える草食男子とは？

Kさんの考える草食男子は、遠慮しがちで引込み思案であり、趣味や仕事に力を入れている男性のイメージである。同年代の草食男子を見ると、一緒にいても静かで何を考えているのかわからないので困るそうだ。誘ってくれるのはいいがデートのプランなど考えず、行きあたりばったりが過去にあった。肉食男子と一緒にいるほうが、話しやすいし楽だと言う。

そこで彼女が付き合うのであればどの男性がタイプであるか聞いたところ、「肉食男子」と迷うことなく答えた。8タイプで見ると④経験豊富な肉食男子が一番だと言う。なぜなら、相手がしっかりリードしてくれるのがいいからである。経験豊富な人であれば、デートの時にサプライズを用意したり感動させることもあるからと、話してくれた。一方で恋愛しない男性に対してどう思うか聞くと、無理してすることではないと答えた。ただし問題として、男性の草食化を非婚化の一要因と、考えているようだ。

またこれからの社会で草食男子は上手くやっていけるのかという質問をしたところ、仕事の面に関して草食男子が自分の興味や趣味に合った仕事を選べば続くのではないかと、答えた。しかし、草食男子は打たれ弱いイメージがあるので無理に合わない会社に入社したとしても辞めていくような感じがすると言う。全体的に草食男子に対してKさんは、否定的に見ている。優しかったり気遣

いをしてくれるなどいい面もあるが、男らしく何事にも積極的に取り組んで自信を持つ方がいいと語った。

どちらかという、体育会系の厳しいクラブ活動をしてこなかった人が草食男子になるようなイメージがあると述べた。幼いころから厳しい環境に身を置くことで、精神面や肉体面でも鍛えられるし、何より競争意識や勝ち負けの世界のなかで男らしくなるのではないかと考えているようだ。彼女自身は見た目は草食女子に見えるが、中身は肉食女子だと言う。常に恋愛をしたいタイプで好みの男性がいたら積極的に行動すると語った。

#### 考察

Kさんは草食男子が「何を考えているかわからない」と言う。しかし男性は何も考えていないわけではなく、100パーセントの答えを出さないといけないと思い、躊躇しているのかもしれない。だが、恋愛しない男性に関しては、無理してまですることではないが、社会的には非婚化、少子化を促進することが懸念される。草食男子に対しては、迷うことなく否定的に見ているようだ。Kさんは「守ってもらいたい」タイプの女性だから、肉食系を好むのだろう。

### 4) Sさん(20歳)女性—「肉食系を好む草食系女子」

Sさんは、飲食店に勤務している社会人である。趣味は音楽鑑賞で、特に最近ではK-POPをよく聞き、韓国語も勉強している。彼女はたいへん社交的ではっきりと物事をいう性格である。

#### Sさんが考える草食男子とは？

Sさんの中にある草食男子は、恋愛に奥手な男性であり、好きな女性がいても待つ恋をする男性で、繊細でデリケートなイメージがある。また草食男子に限らず、一般的に男性の方が女性よりもデリケートだとも言う。

彼女の好みを聞いたところ、少し考えた後、8タイプから選べないと答えた。彼女自身が草食女子であり待つタイプなので、たとえ好きな男性がいても自分からは告白はしないようだ。そのため彼女は、受身の恋愛が理想で、リードできて自信

のある人は男らしくて好きだと答えた。彼女の身の周りは、ほとんどの男性が草食男子のようだ。

そのような草食男子は今後会社に入っても上手くやっていけるのか聞いたところ、彼女はやっていけると答えた。理由としては、その人にあった職業が必ず一つはあるからだ。ただ必ずしも全員が自分のなりたい職種に付けるわけではないので、難しいかもしれないとも述べた。彼女は今の社会で草食男子が増えれば社会も全体的に変わるのではないかと言う。競争社会ではなく、協調性のある社会であれば草食男子も働きやすいのではないかと考えるからである。

草食男子に対して、彼女は否定的には見ていないが恋愛対象にはならない。その理由として恋愛をしても刺激がないからだ。ただ友達としては、やさしくて気配りのできる男性が多いので、つき合えるがそれ以上の進展がないと答えた。あとは自分に自信を持って、自分の思いをはっきりと伝えられる男性になれば、女性に人気があるのでないかと考えているようだ。

#### 考察

Sさんは草食男子に対して、繊細でちょっとした冗談でも間に受けてしまい、デリケートな男性という印象を持っていた。彼らはノルマのあるような会社では仕事を続けていくのは難しいかもしれないという。またSさんは、草食男子が、友達としては好意的だが恋愛対象にはならないと考えている。つまりこれは「いい人止まり」と言うのだろうか。その点では、草食男子は多くの女性から好感を持たれるが、いざ一人の女性との恋愛を始めるときに進展するのが難しいかもしれない。

#### 4. 女性が崩す男らしさ

現代の女性たちに好まれる男性像として、「やさしさ」「ユーモア」「清潔」などがあげられる。「俺についてこい」といった強引な男性は、女性の気持ちを理解していない鈍感な男性だと考えられる。コミュニケーション能力に関して求められるのは、その場を癒しなごませることであり、気遣いもユーモアや笑いを交えて示すことである。単にやさしいだけでは、機械的に見えて女性にとってそれほど魅力的ではないようだ。「やさしさ」

と「ユーモア」を組み合わせた、その場の状況に応じた臨機応変な対応が現代の男性に求められる。また、かつての胸毛や汗臭さに代表された男らしさは、現代では「不潔」見られるようだ。かつての男性優位の家庭において、金も社会的力もなく保護される存在として位置づけられていた女性が、男性に求めるものがより明確になったのである。

バブル景気崩壊前後から1990年代にかけて、理想の男性として女性たちから語られたのが「三高」である。それは、「高学歴・高収入・高身長」という3つの条件が男性にたちに求められた。高学歴によって経済的な生活が保障され、一緒にいても見栄えのよいイメージが都合よく理想像とされたのだろう。しかし2000年代に入り若い女性たちが男性に望むものは、「三高」から「三低」へと変化した。「三低」とは「低姿勢・低リスク・低依存」の3つである。態度が大きい男性は嫌われ、会社が倒産したり失業のリスクが少なく、日常生活において女性に依存せず自立した男性が好まれた。

不景気を反映して「高」に対して「低」が対比されているが「三高」が話題になってからの約20年間の間に、女性が男性を頼ろうとする傾向が薄くなってきた。女性にとって男性に依存しなければ生きていけない時代からパートナーという時代へ変わっていったのだろう。つまり女性に迷惑をかけないがいざという場合は頼れる、女性にとって都合のいい男性が求められているとも言える。その一方で女性が悩んだり困ったりしたときは、パーツからパートナーへ格上げされ支えてくれる存在として期待される。誰にでも優しいが、困ったときは私には特別優しい都合のいい男性が望まれているのかもしれない。ナンパからモテへの変化は、女性たちの変化にあわせて、男性たちの心性も男女関係における積極性から受動性へと変化しつつあることが考えられる。

#### 5. おわりに

本論のインタビュー調査で、草食男子は男性も女性も友達としてなら好意的にみられていることがわかった。ただし草食男子の良い部分もあれば悪い部分があると考え人もいる。総合的にみれば草食男子は、やさしい男性なので好意的にみら

れる。女性へのインタビュー調査では、友達として好意的に見られるが恋愛対象にはならないことがわかった。女性が男性に求めるものが多ければ多いほど、男性が無理に恋愛しても自分の立場がつかなくなるのが考えられる。今回のインタビュー調査は限られた範囲の対象者に行われたので、結果において偏りは避けられない。したがって、この調査結果をもって、現在の草食男子について若い男性と女性がどのように考えているか一般化することはできない。しかしアンケート調査では得られない対象者の本音の語りに迫ることができたと考えている。

### 参考文献

- 深澤真紀 2009 『草食男子世代-平成男子図鑑』  
光文社。
- 藤村正之 2006 「若者世代『男らしさ』とその  
未来」 阿部恒久 大日方純夫 天野正子編  
『「男らしさ」の現代史』男性史3 日本経済  
評論社。
- 森岡正博 2009 『最後の恋愛は草食系男子が持っ  
てくる』 マガジンハウス。
- 森岡正博 2008 『草食系男子の恋愛学』 メディ  
アファクトリー。